

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 乳腺外科 越智 友洋

【研究責任者】

聖路加国際病院 乳腺外科 越智 友洋

術前化学療法を施行した乳癌患者の方を対象とした、超音波を用いた薬物効果判定に関する研究

1.研究の対象

2015年1月～2016年12月に当院で術前化学療法後、手術治療を受けた方を対象とします。

2.研究の目的・方法

乳癌に対する術前化学療法が標準治療となり、症例によっては腫瘍が完全消失する症例も散見されるようになってきました。完全消失した症例は予後が良好であるとする先行研究もあり、術前画像検査にて完全消失を予測できないかということに関心が持たれています。

今回の研究では、術前化学療法前後の超音波検査所見がどのように変化すれば、腫瘍完全消失を判定することができるかを知ることが目標に解析を行います。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2018年12月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

病歴、抗がん剤治療の治療歴、カルテ番号、年齢

腫瘍のサブタイプ、病理学的腫瘍効果判定

超音波検査上の術前化学療法前後の腫瘍の大きさ、縦横比、エコーレベル、その変化率等